

Q. PFASの不安の払拭は



おおぐち しろう
大口司郎 議員

OGUCHI Shiro

A. 必要な措置を講ずる

新聞報道やテレビのニュースでも豊山配水場のPFASは報道されており、住民の不安は募るばかりである。住民の健康に対する不安を払拭するのは、町長の重大な役割であるので、国の基準が示されたら確かつ効果的な対応をお願いする。

Q 町長は、いつ頃PFAS問題を知ったのか。

A 生活福祉部長
令和3年3月の豊山配水場の水質検査の際に、有機フッ素化合物が厚労省の暫定目標値を超えて検出され、企業団から企業長である町長に報告されたときである。

Q 豊山配水場は、令和3年に配水を停止していると新聞では報道されているが「危険」であるから配水を停止したのか。

A 生活福祉部長
厚労省の対応の手引きに基づいて、豊山配水場の井戸水の汲み上げを停止した。

同じくPFASが検出された各務原市の対応として、浄水器の取り付け、曝気槽を年内に設置する計画であるとのこと。豊山町においては、どのような対策を講ずるのか。

Q 同じくPFASが検出された各務原市の対応として、浄水器の取り付け、曝気槽を年内に設置する計画であるとのこと。豊山町においては、どのような対策を講ずるのか。

A 生活福祉部長
現在汲み上げを停止している豊山配水場のPFASはその後、暫定目標値を下回っている。

国が新たに基準や調査方法を提示した際には、必要な措置を講ずる。

Q PFAS問題は、最近テレビや新聞の報道が先行し町からの情報の提示が不足しているように感じられる。原因の究明と健康への影響、農作物への残留など住民の不安を払拭する計画はあるのか。

A 生活福祉部長
町は現状をお知らせするため、広報やホームページで情報を掲載している。今後、適切に情報を提供していく。

町長の日頃からの町政に対する姿勢「1人も取り残さない」「住んで良かった」については、町の職員にも当てはまるものだと確信する。

現在、町には洪水対策などで大型で喫緊の問題が多数あると認識している。

Q 現在、愛知県から派遣されている職員の人数、役職、具体的業務、県への負担額は。

A 総務部長
県から派遣されている職員は、理事、参事、教育参事の3人。

公共交通、空港を活用した地域振興、防災拠点、治水対策、学校の組織編制、学習指導などに関する業務である。派遣職員3人の愛知県への負担額は約1965万円。

派遣職員の具体的な事務とその成果や評価は。県からの派遣職員でないこと対応ができない理由は。

Q 派遣職員の具体的な事務とその成果や評価は。県からの派遣職員でないこと対応ができない理由は。

A 総務部長
具体的事務は、質問1の業務に加え、他機関との連絡調整である。町職員とは異なる視点に基づき、助言や示唆に価値がある。

Q 派遣職員でなければ、対応ができない重要な事案についてどのように考えるのか。町の職員の負担は軽減されているのか。

A 総務部長
この状況は、重要な事案を解決できるまで続けるのか。町職員の負担が十分軽減されている。町職員のスキルアップのため、引き続き派遣をお願いする。

9月定例会

議案 PICKUP

一般質問

Q. 町職員の負担軽減は

A. 十分されている